# イギリスの教育事情

## エジンバラ学術会議のメモから

**昨年十二月末、イギリスのスコットランド州エジンバラ市で開かれていた学術会議に出席の、全国から参加した、公私立の幼稚園、小学校、中学校、高校長などの代表として、黒埼中学校本間校長は無事大任を果され、さる一月八日帰国されましたのでその行程と会議の内容の一部を紹介します。**

参加された本間校長

一行は十二月二十一日、午後六時バンナム001号機で成田空港出発、南回りで二十二日（現地時間午後二時）ロンドンに到着、ここからさらに陸路で、スコットランド州エジンバラ市へ午前一時三十分着（真夜中）

学術会議は、日本からの出席者四十五名と、エジンバラ大学教授生徒ら三十名が出席して、二十三日、正午から同大学講堂で開講式が行われ、正面には両国国旗と団旗が掲げられ、厳粛な中にも温みの感じられる雰囲気の内に、両国国歌の斉唱で始まり、同大学チサム教授が歓迎のあいさつ、続いて一行を代表して、本間校長がメッセージを読みあげました。

次に英国の教育事情を本間校長のメモから

### 州ごとに行政・習慣の相違が大きく

イギリスはご存知のように、イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの四州に区分されており、一言にイギリスと言っても州により行政や習慣などの相違の大きいことに、まず驚かされ、教育方針もそれぞれの州で、独自性、自主性の深い教育が行われている。もちろん中央には文部省がおかれており、その主な役割は、

一、最低共通点の指導
二、教員の給与、研修の指示
三、義務教育年限の規定
四、学校の建物の位置、予算の配分等が大綱である。

州には各地区に教育委員会があり、もちろん議会もある。教育委員は、十八才以上の有権者の投票により選出される。これは我国とまったく異っている点であり、更に諮問委員会が設置されており、これが教育委員会や校長にアドバイスを与え、教育委員会が校長や教頭を任命する組織、機関となっている。

### 英国全体の教育

州単位で教育が進められ、地域性、独自性が強く、あくまでも進学が優先的であり、就職組はなおざりにされている感がある。

総合中学校（一定地域内に住む生徒を収容し、進学、商業、工業の各課定を希望選択できるようになっている学校のこと）の普及率が高く七五%にも昇っている。生徒の教育のみならず、教師の再教育も進んでおり、五年勤務すると一年間実社会で学習をする道も考えている。

### 生まれてから二十才まで教育

出生すると、ただちに母親に対し、母子顧問委員による教育が始まる。

●二才になると「ナースリイスクール（保育園）へ、これは自由制で貧困家庭には訪問指導もある。

●四～五才で小学校へ、五才からは義務制がしかれ、七年間教育される。読み書き、算数、体育、音楽などを主とし、学級担任制である。これは我国と類似している。

●十二才で中学校へ入り、四年間教育を受ける。

●十六才になると、就職、進学、その他に分かれ、その比率は五〇%、三〇%、二〇%の順となっている。就職者には国家の補助があり週一度専門学校で教育を受ける。

●十六才から更に二年間在学し、州の統一試験により、大学への入学資格を得る。合格者はいつ、どこの大学へも入学することができる。しかし、オックスフォード、ケンブリッジの両大学は特別の試験を受けなければならない。

●二十二才で全教育課程を終了。

### 中等教育

一九七〇年に教育行政の改革が実施され、各州への予算配分が縮少され、中央集権的になってきている。近年、社会教育、生涯教育が重視されつつあり、夜間、通信大学講座などを開講し、また職業訓練教育（三十才までの成人を対象に週一回以上）の徹底も図られている。

教育方法も変遷してきており、教師は生徒とチームを編成し、正しく、厳しい教育の指導につとめている。また産業界から教師が採用される点、および「宗教教育」が必修科目となっているなどは、我国と大きく異っている。

校内組織は、各学校に校長、副校長、教頭、副教頭、科目主任が配置され、科目は全教科十六科目で、三通りのコースがある。このコース決定は学校が行い、本人または父母がこれに不満のある場合所轄の教育委員会に申し出ることができる。

### 生涯教育

政治的事情、社会的ニーズ（必要性）教育理念、個人の追求などいろいろと複雑な要素を含んでいるが、すべての人間、幼老、男女、地位、人種を問わず、教育の機会を均等に与えなければならないとされている。

（次ページへ）



（前ページから）

一、有職青少年教育――前述のとおり、夜間または、昼間の専門学校か中等高等学校に通い、四日間労働し、一日学校制度をすすめつつある。

一、定年退職後教育――一定期間社会教育保障があり、一か月七五ペンス（約三百円）が支給され、昼夜間の大学公開講座や通信教育を受けることができ、スコットランドには約八千人の人がこれを受けているという。

### 中学校の経営

リビングストーン市は、人口三万五千人のニュータウンであり、小学校十三、中学校二か校が置かれ新築中の学校が二校で、校舎建築に追われているのが実状のよう、中学校生徒は、全部で千五百人、教師百人で、日本とは違い九月が始業で、十二才に達した生徒が入学する。（夏休み中に小学校と連絡し、均等に学級編成が行われ、年末（クリスマス前）にテストがあり、年始に通知表が渡され、一月から、優秀、平均、劣等クラスに組編成が行われる。

生活指導として、一か月に一日レジャー日が設けられ、教師・生徒と共にキャンプなど野外活動を行い、創造性や連帯感を身につける情操教育の向上につとめ、非行問題は外部の機関で、指導をしている。

### 英国の「私立学校」

小・中高校の九五%は公立であるが、私立学校が五%を占め、少人数で一学級二十五人以下で教育の充実をはかり、生徒数も一校二百人～六百人、寄宿舎制度をとり五才から入舎する者もいる。大学入学の合格率が高く、この学校へ入学するため、転居をする家庭もある。

以上が、十二月二十三日から二十七日までの四日間、本間校長の学術会議で研修された「メモ」の一部です。通訳を通しての会議のため、理解不充分の点も多々あろうかと思いますが、少しでもイギリスと我国の相違点などを知っていただければ幸いと話しておられました。

## 「税務コーナー」

# 貯蓄と税金

私たちは、住宅の購入資金や思いがけない出費などに備えて、預金をしたり、公社債を買ったりして貯蓄をしています。

これらの預金や公社債の利子には、利子所得として所得税がかかりますが、一定の手続きをすることによって税金がかからない制度があります。

### ○非課税となるのは

①少額貯蓄の利子――預貯金の利子や、貸付信託などの収益の分配金は、一人元金三百万円を限度として税金がかかりません。

②少額公債の利子――国債や公募地方債の利子は、①とは別わくで額面金額三百万円までは税金がかかりません。

③勤労者財産形成貯蓄の利子――給料から天引きして貯蓄する勤労者財産形成貯蓄の利子には、①②とは別わくで、元金五百万円まで税金がかかりません。

これらの非課税制度は、一般に「マル優」とか「特別マル優」といわれているものです。そのほか郵便貯金の利子は原則として非課税です。

### ○住宅貯蓄控除

住宅を購入するための貯蓄で、一定の要件にあてはまるときは、所得税の「住宅貯蓄控除」が受けられます。

一定の要件とは、①定期的に三年以上の積立てをすること、②積立金は利子とともに全部を住宅購入資金にあてること、③積立期間満了後、一定期間内に自分で居住する住宅（床面積が一六五平方メートル以下で敷地面積が三〇〇平方メートル以下）を購入すること……などです。

詳しいことは、税務署に問い合せ下さい。

# 町職員を募集

## 申込みは 2月22日㈭まで

黒埼町職員を次の要項により募集します。

◎職種及び人員
一般職（男子）若干名
保母・栄養士
給食婦、用務員 }（女子）若干名

◎資格
○昭和二十九年四月二日から三十六年四月一日までに生れた者
○高校卒業以上または卒業見込の者で、普通自動車免許の取得者（一般職・男子）
○保母資格、幼稚園免許・栄養士免許、調理士免許取得者、及び五十四年三月三十一日までに各免許取得見込みの者
○黒埼町在住者に限ります。

◎申込み受付
昭和五十四年二月十日㈯から二月二十二日㈭午後五時まで関係書類を**持参提出**すること。

◎提出書類
申込書（総務課にあり）履歴書（写真添付）卒業証書（又は見込書）学校長推せん書、成績証明書、健康診断書（公立病院のもの）

※写真は胸上脱帽、たて四㎝・よこ三㎝、一枚は履歴書に添付ほか二枚には裏面に撮影年月日を記入（六か月以内のものとする）

◎試験日　三月四日㈰の予定

詳細は、総務課人事係へ
☎(7)3101～5

**「心配ごと相談」毎週土曜午後1時から役場第1委員会室で行っています。一人で悩まず、気軽に相談を。**